

広報担当が取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。カシャ!!
秘書広報課 ☎0040 ✉koho@city.makinohara.lg.jp



放水作業をする市消防団員と静岡市牧之原消防署員

火災などから文化財を守るために

■文化財防火訓練

文化財防火訓練が1月25日、釣月院（地頭方区）で行われました。

この訓練は、1月26日の「文化財防火デー」に際し、県指定文化財である釣月院の本堂東側住宅部分で火災が発生し、本堂に延焼する恐れがある想定で行われ、静岡市牧之原消防署や市消防団など関係者70人が連携を取り合いながら、本堂に向かって一斉放水しました。静岡市牧之原消防署の園田芳洋署長は「今後も牧之原の消防団と連携し、文化財を守れるようにしたい」と話しました。

今年一年の無病息災を願う

■どんど焼き

牧之原保育園は1月9日、園庭でどんど焼きを行い、園児約50人が参加しました。

これは、小正月と呼ばれる1月15日に行われる火祭り行事で、参加した人たちの1年間の災いを払い、豊作や家内安全、無病息災などを願う正月行事です。

園児は、昨年末に一生懸命作った正月飾りを火の中に投げ入れ、今年1年間の幸せを祈願しました。その後、準備していたサツマイモを火の中に入れ、みんなで焼き芋を楽しみました。



正月飾りを火の中に入れて、今年の幸せを願う園児

いよいよ「大河ドラマ展」などが開始

■「田沼意次の新時代展」大河ドラマ「べらぼう〜篤重栄華乃夢断〜」展・静岡まきのはら

「大河ドラマ『べらぼう〜篤重栄華乃夢断〜』展・静岡まきのはら」が1月26日に始まり、市史料館でオープニングセレモニーが行われました。

大河ドラマ「べらぼう〜篤重栄華乃夢断〜」田沼意知役の俳優・宮沢氷魚さんや関係者が出席。開催を祝い、ドラマによる地域活性化や市民の郷土愛醸成などを願いました。

また、田沼意次侯関連の資料を中心に展示している「田沼意次の新時代展」も同時開催。意次侯関連イベントについては、3月号で特集します。



テープカットを行う宮沢氷魚さん(⑥から2番目)など



スマートフォンによりデジタルスタンプを獲得（大澤寺にて）

デジタルで意次侯ゆかりの地を巡る

■ためまっぷラリーin牧之原～意次くんと巡る旅～

モバイル端末の周遊アプリを活用した「デジタルスタンプラリー『ためまっぷラリーin牧之原～意次くんと巡る旅～』」が3月14日まで開催されています。

市内の「田沼意次侯ゆかりの地」「歴史スポット」「観光スポット」の全27カ所にて、GPS機能（位置情報の取得）などを用いて、端末に表示されるボタンなどによりデジタルスタンプを獲得。貯めたポイント数により、市内の特産品や施設チケットが当たる抽選に応募することができます。



子どもたちに体の使い方を直接指導する飯塚選手⑥

飯塚選手のように世界に

■飯塚翔太選手による「陸上クリニック」

各分野のスポーツ選手などが子どもたちや指導者などに直接指導を行う、ドリカムスタート事業の「陸上クリニック」が1月5日、市多目的体育館「GasOneアリーナ牧之原」で開催されました。

御前崎市出身で、パリ大会まで4大会連続で五輪に出場している陸上男子短距離競技の飯塚翔太選手（ミズノ）が講師。市内で陸上競技をしている小学生から高校生までの約70人や指導者は、体の使い方や早く走るコツなどを世界の第一線を経験する五輪メダリストから直接教わりました。

地域の魅力を高め、持続性のあるまちづくりへ

■令和7年市新春初顔合わせ会

市新春初顔合わせ会が1月6日、い〜らで開かれ、市内企業や団体の代表者、行政・教育関係者ら約250人が出席しました。

表彰式（2・3号掲載）の後、杉本市長は「市の課題である若者の減少、少子化に歯止めをかけ、住む魅力、産み育てる地域の魅力を高める取り組みや定住を促進し、持続性のあるまちづくりを実現していく」とあいさつしました。

その後、出席者は新年のあいさつを交わし、交流を深めました。



中山地区長会長の発声により静岡牧之原茶で乾杯する参加者

子どもの健やかな成長を願う

■大鐘家「つるし飾り展」

つるし飾り展が5月上旬まで、国指定重要文化財「大鐘家」（片浜区）で開かれています。

つるし飾りは、子どもの健やかな成長を願い、桃の節句のひな壇の両側に、はぎれで作った手縫いのぬいぐるみをつるす風習で、別名「桃飾り」とも呼ばれています。

期間中は、近隣市町の手芸愛好家が手作りした雛人形や、羽子板、小袋、着物など約100点が展示されており、江戸時代の古民家に鮮やかに飾られた風情を楽しむことができます。



色とりどりのつるし飾りを鑑賞する来客者



小型ポンプ操作による放水を披露する消防団員

今年一年の無火災・無災害を祈願

■令和7年市消防団出初め式

市消防団出初め式が1月5日、相良中学校で行われました。

これは、市内の消防団員が一堂に会して無火災・無災害を祈願し、新年の門出を祝う行事として毎年実施。式典では、長年消防団に尽力した団員などの表彰が行われた後、グラウンドで消防団員が小型ポンプを使用した操作による放水を披露しました。神崎克典団長は「大規模化、多様化する災害に役割は大きくなっている。地域から頼りにされる消防団を目指そう」と団員に呼び掛けました。